

# ヤナギヌカボ

学名 *Polygonum foliosum* H. Lindb. var. *paludicola* (Makino) Kitamura

目名

目名学名

科名 タデ科

科名学名 Polygonaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

生育地は散在し、しばしば群生するが生育範囲は狭い。1年草のため、生育環境の変化で生育状態に消長がみられる。土地の改変や水環境の悪化で、生育地の減少が懸念される。

県内分布	中津・宇佐低地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大野川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	低地から低山地の湿地や湿った林縁。
現 状	生育環境が不安定で、生育状態が持続しているかどうか把握されていない所がある。
備 考	